



「布」でやさしさを科学する。

## とりこっとな by nunology

前橋市

- ▶ 代表者: 山田 俊介
- ▶ 設立年月日: 2019年6月5日
- ▶ 従業員数: 3人
- ▶ 住所: 前橋市西片貝町4-15-5-4F
- ▶ TEL: 080-1190-4195
- ▶ Mail: shun.nunology@gmail.com
- ▶ URL: <https://www.fukurou-gunma.com/tricotton/>

当社HPへは  
こちらから→



### 企業紹介

リンパ浮腫による滲出液の専用吸収シート「とりこっとな®」をはじめとする、がんの後遺症・合併症のための「あて布」の企画・製造・販売を行っております。

布でやさしさを科学する



### 経緯・背景

代表・山田は2019年5月、愛妻をがんで亡くしました。最期の3か月は、リンパ浮腫という浮腫との闘いでした。浮腫がひどくなると皮膚の表面からリンパ液が滲み出ます。滲み出たリンパ液を吸わせるために病院で勧められたのは、ペット用のトイレシートでした。言葉を発することができないほどのショックを受けました。

SNSで偶然見かけた、カラフルで肌に優しい布ナプキンの写真を機に、愛妻のための特注品をオーダーしました。特注品を見せてあげられないまま妻を看取った心残りを、他の誰かに同じ思いをしてほしくないと、リンパ浮腫による滲出液の専用吸収シートの開発を決意しました。

### 具体的な取組

#### ■リンパ浮腫による滲出液の専用吸収シートの開発

##### 活動自体の広報・啓蒙:

リンパ浮腫による滲出液のための専用吸収シートには顕在化した市場がないことに加えて、リンパ浮腫自体に対する認知度も低いという状況でした。そこで、「誰ひとり取り残さない」というSDGsの根本理念に適う取組として、単なる商品の宣伝・団体の認知度アップにとどまらず、リンパ浮腫による滲出液に悩む人たちがいること、ペット用品や生理用品で代用するしかない現状の周知・啓蒙に努めてきました。

##### シートの開発:

病気の人の肌に直接触れるものなので、一般雑貨ながらも医療機器レベルの安全性が必要と考えました。令和2年度群馬県繊維工業試験場公募型共同研究事業実施企業に選ばれ、吸水性・保水力・防水性・抗菌性・防臭性等の機能を有した4層構造の吸収シート素材を開発することができました。



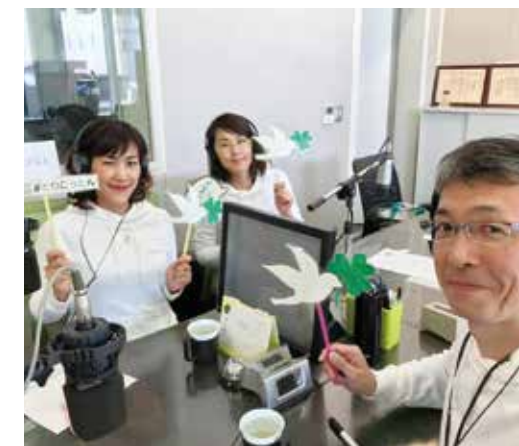
群馬県繊維工業試験場との共同研究に際する、素材・構造・機能に関する打ち合わせの様子。

### 成果・効果

- 2019年 9月: 群馬県 地域・まちなか活性化応援事業 優秀事業プランに認定
- 2020年 6月: 群馬県 繊維工業試験場公募型共同研究実施企業に選定
- 2020年 9月: 群馬県と共同で特許出願 (体液吸収パット)
- 2020年10月: とちぎんビジネスプランコンテスト優秀賞
- 2021年 1月: 日経ソーシャルビジネスコンテストファイナリスト (406組中15組)



■製作ミーティング  
縫製の方法や工程の改善に関する製作ミーティングの様子。



■メディア掲載  
私たちの取組に、新聞・ラジオ・テレビ等、メディアに取り上げていただいています。

### 当社にとってのSDGsと、その展望

「布でやさしさを科学する」をミッションに掲げ、病気と向き合う人とその家族に向けて、やさしさと華やかさとやさらかさと温かきで包み、「あなたを大切にしているよ」という思いをカタチにして伝える手段を提供します。遺された家族のなかにもペット用品の使用を勧められたとき、私たちと同じようにイヤだと感じた経験を持つ人がいます。しかし、ほとんどの人にとっては忘れたい過去であり、人前で声をあげることはありませんでした。私たちにとってのSDGsは「見て見ぬふりをしない」ことだと認識しています。目の前に悩みを抱えた人がいて、でも欲しいものが世の中にない。ならば私たちが創って届けよう!という想いです。